

災害の多様化・大規模化

- ・ 地震、台風、集中豪雨、竜巻、大雪、火山噴火等、多様な災害の多発
- ・ 大規模地震や津波の甚大な被害とそれらに伴う避難長期化
- ・ 台風や局地的な大雨等による風水害災害の激化
- ・ 首都直下地震、南海トラフ地震等の大規模災害の懸念

社会情勢の変化

- ・ 人口減少、高齢化
- ・ 雇用体系の変化（被用者の増加）に伴い、平日昼間、青年・壮年・中年の層が地域外に流出
- ・ 消防団員数の減少
※令和2年4月1日現在で818,478人（前年度比▲13,504人）と、2年連続1万人以上の減少
- ・ 20代・30代の入団者数が平成23年と比較し、約4割減少

地域に密着した消防団には、従来の消火・救助活動に加え、避難誘導や避難所運営支援活動等、多様な役割が求められる。

地域防災の担い手の減少等に伴い、消防団員一人ひとりの負担が増加している。

【多様化する消防団の役割】

- ・ 地域住民に対する迅速な災害情報伝達、早期避難の呼びかけ、避難誘導
- ・ 台風時におけるブルーシート等による家屋の応急補修・動力消防ポンプによる排水活動
- ・ 災害の大規模化に伴う広範囲の搜索活動、安否確認
- ・ 避難生活の長期化等に伴う、避難所運営支援活動

⇒ 大規模災害において、複数の場面で様々な役割が消防団に求められるとともに、活動が長期化する場合もある。

多様化する消防団の役割等②

(1) 東日本大震災

① 発災直後の活動

- ・ 津波到達までの警戒活動、避難誘導、水門閉鎖
- ・ 消火活動
- ・ がれき等からの救助活動

② その後の活動

- ・ 津波被害後の搜索活動
- ・ がれき撤去
- ・ 避難所運営の支援
- ・ 物資運搬
- ・ 防犯活動 等

※ 活動中に犠牲となった消防団員は254名であり、これを受け、平成24年8月、津波災害時の消防団員の安全確保対策等について通知を発出

※ 避難所運営や防犯活動等、一般的な消防団活動以外の活動も多く、特に搜索活動が長期化した。

(2) 令和元年房総半島台風（台風第15号）

- ・ 住民に対する早期避難の呼びかけ
- ・ 危険箇所の警戒活動
- ・ 倒木や飛散物の除去
- ・ ブルーシート等による家屋の応急補修
- ・ 避難所の運営支援



(3) 令和元年東日本台風（台風第19号）

- ・ 住民の避難誘導
- ・ 動力消防ポンプによる排水活動や行方不明者の搜索
- ・ 土砂等の除去
- ・ 戸別訪問による住民の安否確認



(4) 令和2年7月豪雨

- ・ 危険箇所の巡視、警戒
- ・ 広報車を活用した早期避難の呼びかけ
- ・ ボートによる救助活動や行方不明者の搜索
- ・ がれきや流木の撤去
- ・ 浸水により孤立した集落への物資運搬



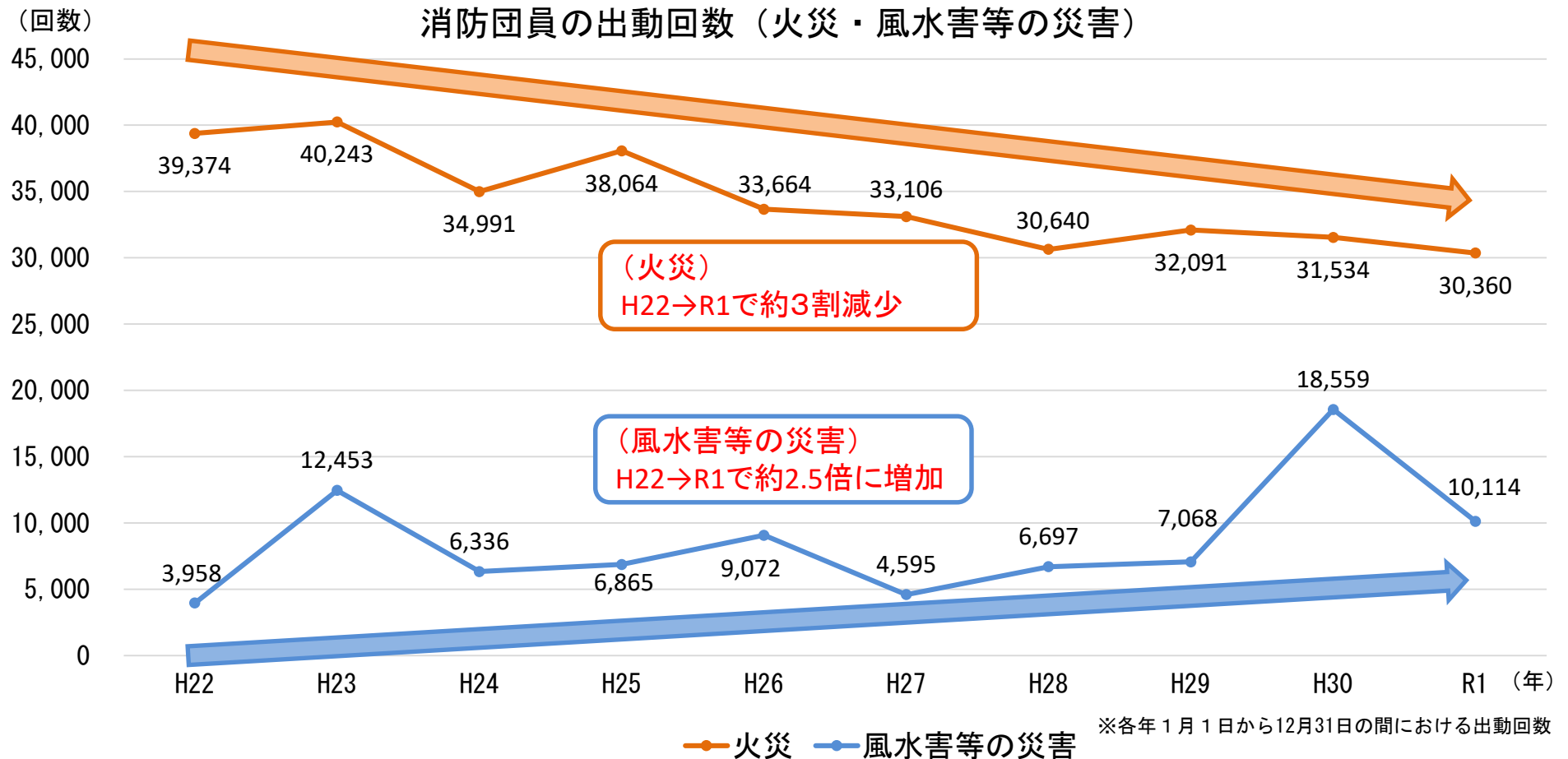
多様化する消防団の役割等③

○ 消防団の出動回数

総数：平成22年から令和元年で約 1 割増加（H22:616,430回 → R1:685,499回）

火災：平成22年から令和元年で約 3 割減少（H22: 39,374回 → R1: 30,360回）

風水害等の災害：平成22年から令和元年で約2.5倍に増加（H22:3,958回 → R1:10,114回）



多様化する消防団の役割等④

○千葉県館山市消防団（令和元年房総半島台風（台風第15号） 令和元年東日本台風（台風第19号））

【主な活動内容】

- 台風接近中・通過中の避難誘導や倒木・飛散物の撤去などの警戒活動
- 建物被害調査や被災者への炊き出し、高齢者世帯への声掛け・見守り
- 地域住民・ボランティアとの協働による、倒木・災害ごみ等の撤去



活動期間	9月8日～ 11月10日
延べ活動人員	1,890人
団員活動率 (延べ活動人員／団員数)	552.6%

○長野県南相木村消防団（令和元年東日本台風（台風第19号））

【主な活動内容】

- 降り続く豪雨の中、土のう設置などの昼夜にわたる水防活動
- 河川から流出した流木や土砂の除去を行い、道路網を確保
- 浸水被害のあった住宅の土砂や災害ごみの撤去



活動期間	10月12日～14日
延べ活動人員	143人
団員活動率 (延べ活動人員／団員数)	260.0%

多様化する消防団の役割等⑤

○熊本県球磨村消防団（令和2年7月豪雨）

【主な活動内容】

- 発災前からの住民に対する避難誘導
- 救助ヘリの補助や高齢者への支援物資搬送
- 団員の多くが自らも被災する中、住民の安否確認や救助活動



活動期間	7月3日～28日
延べ活動人員	871人
団員活動率 (延べ活動人員／団員数)	483.9%

○宮崎県椎葉村消防団（令和2年7月豪雨・令和2年台風第10号）

【主な活動内容】

- 避難誘導や民家周辺の土砂の除去
- 消防本部・消防署が設置されていない中、各方面からの応援体制の総括
- 土砂災害時には、夜間まで行方不明者の捜索・救助



活動期間	7月4日～16日 9月5日～25日
延べ活動人員	995人
団員活動率 (延べ活動人員／団員数)	340.8%